

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (2001), 77(2): 439-439
Issue Date	2001-11-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/97079">http://hdl.handle.net/2433/97079</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成13年11月20日発行(毎月1回 20日発行)  
物 性 研 究 第77巻 第2号

ISSN 0525-2997

**vol.77      no.2**

# 物性研究

**2001 / 11**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

京都では朝夕寒いと感じるようになりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。私は4月から「物性研究」の編集委員に加わった新人で、専門分野としては物性理論・統計力学からは少し離れた分野にいます。

大学院に入った頃は、乱流の統計理論を研究しようと、さしたるあてもなく意気込んでいました。ふと気が付くと決定論的なことばかりに興味を持ち、アンサンブル平均を空間平均で置き換えることなど全く無意識にできるまでに進化してしまいました。その間に、解いても直接的・具体的な応用が直ちに見つかるかどうかははっきりしないこのような難問に挑戦するのは時間の浪費である、といった認識も業界に散見されるようになったようです。おっと、これではいけない；求職中の若者ならいざ知らず、現役の研究者までもが応用上の短期的目標だけでテーマを選ぶことはゆゆしき事態です。編集委員になったのをきっかけに少し統計的な問題も考え直してみたいと思っています。

正直に言うと、編集委員になるまで本誌は殆んど読んだことがありませんでした。しかし、例えば計算機実験を研究に利用する際に、シリーズ「物性研究者のための計算手法入門」などは大変参考になり、また読んでいてそれ自身楽しいものです。また、私の研究テーマの場合、研究者のスペクトルは物理、数学、工学に広がっていますが実際上はおのおの自己完結的に研究を行っていることが多いようです。物性の各分野での事情は把握しておりませんが、物性プロパー以外の方も本誌に執筆されることはこのような相互作用を密にする意味でもありがたいことだと思います。

(cardamom)

## [物性研究]

### 編集長

早川 尚男 (京大・人環)

### 編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)  
北村 光 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
藤本 聡 (京大・理・物理)  
加藤 将樹 (京大・理・化学)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
大木谷 耕司 (京大・数研)

### 各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)  
早川 美德 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
堀田 貴嗣 (原研・先端研)  
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
永井 寛之 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
倭 剛久 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
関本 謙 (京大・基研／在フランス)  
菊池 誠 (阪大・理・物理)  
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)  
市岡 優典 (岡大・理・物理)  
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 77 卷 第 2 号 (平成 13 年 11 月号) 2001 年 11 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭和企業組合  
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541 ~ 3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

---

## [物性研究]

### 編集長

早川 尚男 (京大・人環)

### 編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)  
北村 光 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
藤本 聡 (京大・理・物理)  
加藤 将樹 (京大・理・化学)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
大木谷 耕司 (京大・数研)

### 各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)  
早川 美德 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
堀田 貴嗣 (原研・先端研)  
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
永井 寛之 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
倭 剛久 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
関本 謙 (京大・基研／在フランス)  
菊池 誠 (阪大・理・物理)  
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)  
市岡 優典 (岡大・理・物理)  
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 77 卷 第 2 号 (平成 13 年 11 月号) 2001 年 11 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭和企業組合  
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541 ~ 3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

### 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 77-2 (11月号) 目 次

○シリーズ「物性研究者のための計算手法入門」

格子ボルツマン法—新しい流体シミュレーション法—……………稲室 隆二…… 197

○研究会報告

「非平衡系の新局面—運動・機能・構造—」…………… 233

「認知科学の数理的基礎づけに向けて」…………… 355

○修士論文(2000年度)

重い電子系  $\text{CeRu}_2\text{Si}_2$  のメタ磁性転移における弾性異常と緩和現象の研究  
……………柳澤 達也…… 391

○編集後記…………… 439



物 性 研 究 77-2 (11月号) 目 次

○シリーズ「物性研究者のための計算手法入門」

格子ボルツマン法—新しい流体シミュレーション法—……………稲室 隆二…… 197

○研究会報告

「非平衡系の新局面—運動・機能・構造—」…………… 233

「認知科学の数理的基礎づけに向けて」…………… 355

○修士論文(2000年度)

重い電子系  $\text{CeRu}_2\text{Si}_2$  のメタ磁性転移における弾性異常と緩和現象の研究  
……………柳澤 達也…… 391

○編集後記…………… 439